

臨床検査基準値一覧

検査案内 第13版(2017年11月01日)より抜粋

2018年 03月26日版

変更内容

2018年3月26日 「共用基準範囲」採用

(日本臨床検査標準化協議会:JCCLS)

公立大学法人横浜市立大学附属病院
臨床検査部・輸血細胞治療部

検査案内から抜粋した基準値表を臨床検査基準値一覧とする。

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
インフルエンザウイルス抗原	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、滅菌綿棒	インセイ
R S ウイルス抗原	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、滅菌綿棒	インセイ
アデノウイルス抗原	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液 角結膜ぬぐい液	特になし	輸送容器、滅菌綿棒	インセイ
A群β溶連菌抗原	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、滅菌綿棒	インセイ
尿中肺炎球菌抗原	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌カップ 滅菌スリット	インセイ
尿中レジオネラ抗原	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌カップ 滅菌スリット	インセイ
C. ディフィシル毒素	イムノクロマト法	糞便	便0.5g	採便容器	インセイ
ロタウイルス抗原	イムノクロマト法	糞便	便0.5g	採便容器	インセイ
アデノウイルス抗原	イムノクロマト法	糞便	便0.5g	採便容器	インセイ
ピロリ抗原	イムノクロマト法	糞便	便0.5g	ヘリコバクター・ピロリの便採取容器	インセイ
ノロウイルス抗原	イムノクロマト法	糞便	便0.5g	採便容器	インセイ
クリプトコッカス抗原	逆受身ラテックス凝集反応	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スリット	インセイ
細菌性髄膜炎抗原 (肺炎球菌抗原)	イムノクロマト法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スリット	インセイ
細菌性髄膜炎抗原(ヘモフィルスb型抗原)	ラテックス凝集法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スリット	インセイ
マイコプラズマ抗原	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、滅菌綿棒	インセイ
精液	鏡検法	精液	精液 1.0mL	滅菌スリット 滅菌スリット	精子数 $\geq 50 \times 10^6 / \text{mL}$ 精子量 2~4.5mL 運動率... $\geq 70\%$ (射精後30~60分)
気管支肺胞洗浄液	遠心分離細胞数算定 細胞分画測定	気管支肺胞洗浄液	BAL1.2.3 全量	気管吸引用キット 専用スリット	マクロファージ 92~98% リンパ球 2~7% 好中球 <1% 好酸球 <1% 好塩基球 <1%
尿-比重半定量	透過型屈折率測定法	尿	尿10mL	尿カップ	1.006~1.030
尿-pH半定量	複合pH指示薬法	尿	尿10mL	尿カップ	pH4.5~7.5
尿-蛋白半定量	pH指示薬のタンパク誤差反応	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-潜血反応	ヘモグロビン接触活性法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-白血球反応	白血球エステラーゼ活性法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-亜硝酸塩反応	Griss 反応	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-糖半定量	グルコースオキシダーゼ法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-アセトン体	アルカリニトロプルシド法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-ビリルビン	アゾカップリング反応	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-ウロビリノーゲン	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿カップ	±
尿-沈渣	ア:顕微鏡画像解析法 イ:鏡検法	尿	尿10mL	尿カップ	赤血球: ≤ 4 個/HPF 白血球: ≤ 4 個/HPF

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
尿-蛋白	ピロガロールレッド法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	20～120mg/day
μ-A L B	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	5.7±2.6mg/日 蓄尿 ≤18.6mg/g・Cre
尿-N a	イオン電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	2.9～5.8g/day (125～250mmol/L/day)
尿-K	イオン電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	2～3.9g/day (50～100mmol/L/day)
尿-C l	イオン電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	2.5～8.9g/day (70～250mmol/L/day)
尿-C a	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.1～0.2g/day
尿-M g	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.02～0.16g/day
尿-無機リン	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.4～0.8g/day
尿-尿素窒素	ウレアーゼGLDHUV法 (アンモニア消去法)	尿	尿1.0mL	尿カップ°	6.5～13.0g/day
尿-クレアチニン	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.5～1.5g/day
尿-尿酸	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.4～0.8g/day
尿-グルコース	Gluko-DH-UV法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	40～85mg/day
尿-N A G	合成基質MPT-NAG法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	M:1.9～8.7 U/day F:1.3～4.5 U/day
尿-β ₂ マイクログロブリン	ラテックス凝集免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	11～253 μg/day
尿-アミラーゼ	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	尿	尿1.0mL	尿カップ°	<700 U/L
尿-ミオグロビン	ラテックス免疫比濁法 □	尿	尿1.0mL	尿カップ°	該当なし
尿-浸透圧	過冷却氷点降下法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	50～1300mOsm/Kg・H ₂ O 通常500～800mOsm/Kg・H ₂ O
尿-I g G	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	該当なし
尿-蛋白分画	キャピラリー電気泳動	尿	尿10mL	尿カップ°	設定なし
トライエージ	金コロイド粒子免疫法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	インセイ
髄液-比重	屈折計法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	1.005～1.007
髄液-細胞数	鏡検法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	≤5/1 μL 主としてリンパ球、 表示≤15/3
髄液-沈渣	髄液沈渣鏡検法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
髄液-蛋白	ピロガロールレッド法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	10～40mg/dL
髄液μ-A L B	免疫比濁法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	10～30mg/dL
髄液-β ₂ マイクログロブリン	ラテックス凝集免疫比濁法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	0.44～1.24mg/L
髄液-グルコース	Gluko-DH-UV法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	50～75mg/dL
髄液-N a	イオン電極法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	130～150mmol/L
髄液-K	イオン電極法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	2.5～3.5mmol/L
髄液-C l	イオン電極法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	120～125mmol/L
髄液-C a	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	4.4～5.0mg/dL
髄液-無機リン	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
髄液-I g G	免疫比濁法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	1～3 mg/dL
髄液-ピルビン酸	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	0.63～0.77mg/dL
髄液-乳酸	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	13.7～20.5mg/dL (1.52～2.27mmol/L)
髄液-L D H	JSCC標準化対応法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	≤25 U/L
髄液-C E A	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
髄液-αフェトプロテイン	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
髄液-H I V A g A b	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ (S/CO:<1.00)
髄液-H T L V - I / II 抗体	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ (S/CO:<1.00)
髄液-梅毒 T P 抗体	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ (S/CO:<1.00)
体腔液-比重	屈折計法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	ア浸出液: ≥1.018 イ濾出液: ≤1.015
体腔液-細胞数	鏡検法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	ア浸出液: ≥1000個/μl イ濾出液: ≤1000個/μl
体腔液-沈渣所見	体腔液沈渣鏡検法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
白血球分画	鏡検法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 3.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
体腔液-蛋白	ビウレット法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液アルブミン	BCP改良法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-グルコース	Gluco-DH-UV法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-N a	イオン選択電極法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-K	イオン選択電極法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C l	イオン選択電極法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-尿素窒素	ウレアーゼ・GLDH・UV法（アンモニア消去法）	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-クレアチニン	酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-尿酸	酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C a	酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-無機リン	酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
体腔液-R F	ラテックス凝集法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-L D H	JSCC標準化対応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-A L P	JSCC標準化対応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液アミラーゼ	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C A 1 2 5	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C A 1 9 - 9	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C E A	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-A F P	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-総ビリルビン	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆渣	鏡検法	胆汁	胆汁3～5mL	滅菌スピッツ	少量の粘液、上皮細胞、1～2コ/ μ Lの白血球
胆汁-N a	イオン選択電極法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-K	イオン選択電極法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C l	イオン選択電極法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C a	酵素法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-総ビリルビン	酵素法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-総コレステロール	酵素法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C E A	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
乳頭分泌液 C E A	イムノクロマト	乳頭分泌液	500 μ L	キャピラリー吸引の後、スピッツ管	<400 ng/mL
便-ヘモグロビン	イムノクロマト	糞便:採便容器 ‘栄研’に便を採取		便ヘモグロビン	—
便-ポキール虫卵	セロファンテープ検肛法	肛門の周囲にいる虫卵を接着採取	2日間採取	ポキール	—
便-集卵法虫卵	ア 集卵法:大島法 イ 浮遊法:硫酸亜鉛遠心浮遊法	糞便	0.5g	滅菌シグコップ	—
便-虫体検出	鏡検法	糞便	0.5g	滅菌シグコップ	—
便-塗抹鏡検虫卵	薄層塗抹法	糞便	0.5g	滅菌シグコップ	—
白血球数	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	$3.3 \sim 8.6 \times 10^3 / \mu$ L
赤血球数	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M: $4.35 \sim 5.55 \times 10^6 / \mu$ L F: $3.86 \sim 4.92 \times 10^6 / \mu$ L
ヘモグロビン濃度	シアンメトヘモグロビン法変法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M: 13.7～16.8g/dL F: 11.6～14.8g/dL

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
ヘマトクリット		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:40.7~50.1% F:35.1~44.4%
MCV	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	83.6~98.2fL
MCH		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	27.5~33.2pg
MCHC		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	31.7~35.3g/dL
赤血球分布幅(RDW)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	11.6~14.2%
血小板数	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	158~348×10 ³ /μL
平均血小板体積(MPV)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	8.0~11.2fL
網赤血球数	ア ニューメチレンブルー・VCSn法(DxH) イ ブレッカー法(視算法)	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	網赤血球比率:0.5~2.0% 網赤血球数:2.1~9.5×10 ⁴ /μL 幼若網赤血球分画:0.22~0.42
末梢血液像	ア VCSn法(DxH) イ 視算法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	自動法 好中球 : 39.6~69.7% リンパ球 : 22.4~51.2% 単球 : 2.7~7.0% 好酸球 : 0.8~9.3% 好塩基球 : 0.4~2.0% 視算法 好中球総数 : 43.5~72.0% 桿状核好中球 : 0.0~7.0% 分葉核好中球 : 37.5~66.0% リンパ球 : 19.5~47.0% 単球 : 2.2~10.4% 好酸球 : 0.0~6.0% 好塩基球 : 0.0~1.8% 異型リンパ球 : 0.0~1.4% 自動法・視算法の絶対数 好中球 : 1.6~5.3×10 ³ /μL リンパ球 : 1.1~3.1×10 ³ /μL
好酸球数	VCSn法(DxH)または視算法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	0.15~0.35×10 ³ /μL
アルカリホスファターゼ染色(NAP)	朝長法変法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	陽性率(rate) 75~95% 陽性指数(score) M:212.2±37.2(156~271) F:254.1±38.2(183~334)
出血時間	DuKe法	該当無し		該当無し	1~5min
APTT	凝固時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	25.0~35.0 sec
プロトロンビン時間	Quick1段法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	0.87~1.15 INR
フィブリノーゲン	トロンビン時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	186~385 mg/dL
可溶性フィブリン	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	≤7.0 μg/mL
FDP-E	ラテックス近赤外免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	FDP管	≤60 ng/mL(2018/4/30まで)
FDP	ラテックス近赤外免疫比濁法	血清	血液 1.8mL	凝固検査管	<5 μg/mL

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
FDP-Dダイマー	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	$\leq 0.7 \mu\text{g/mL}$
アンチトロンビン	発色性合成基質法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	78～125%
血小板凝集能	透光度法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 10mL	凝固検査管	ADPは最終濃度 $0.5 \sim 1.0 \mu\text{mol/L}$ では一次凝集、 $2.5 \sim 5.0 \mu\text{mol/L}$ で二次凝集を認める。エピネフリンは $0.2 \sim 2 \mu\text{g/mL}$ 、リストセチンは $1 \sim 1.2 \text{mg/mL}$ 、コラーゲンは最終濃度 $1 \sim 4 \mu\text{g/mL}$ で強い凝集を認める。適性濃度以上の血小板惹起物質を加えても凝集が生じないか、微弱な場合は血小板機能低下と診断され、低濃度または無添加で凝集が生じる(自然凝集)場合は血小板機能亢進と診断される。
血小板粘着能	Salzman変法(コラーゲンビーズカラム法)	血液(EDTA2K加血)	血液 4.0mL	末血管ED-2K	M:12～60% F:13～50%
赤血球沈降速度	Westergren法	血液(3.8%クエン酸加採血管)	血液 1.6mL	血沈管	M:2～10mm/hr F:3～15mm/hr
骨髓像	視算法	骨髓	骨髓液 0.5mL	末血管ED-2K	芽球を除く顆粒球系(計) 40.0～50.0% 骨髓芽球 0.4～1.0% 好酸球 1.0～5.0% 好塩基球 0.0～0.4% リンパ球 15.0～25.0% 単球 2.8～5.4% 赤芽球系(計) 14.0～25.0% 前赤芽球 0.0～0.4% その他の赤芽球系 14.0～25.0% M/E比 1.2～3.8
CD4陽性リンパ球	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	CD4陽性細胞(CD3+4+) 25.3～57.1%
CD8陽性リンパ球	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	CD8陽性細胞(CD3+8+) 17.6～46.0%
NK細胞	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	NK細胞(CD3-56+) 5.0～30.0%
T細胞	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	T細胞(CD3+) 47.4～80.8%
B細胞	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	B細胞(CD19+) 5.2～26.3%
骨髓有核細胞数	視算法	骨髓	適量	末血管ED-2K	$10 \sim 25 \times 10^4 / \mu\text{L}$
骨髓巨核球数	視算法	骨髓	適量	末血管ED-2K	$50 \sim 150 / \mu\text{L}$
クロスミキシング試験	凝固時間法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固採血管	該当なし
血液型検査 A.V. Innova	ビーズカラム遠心凝集法(CAT)	抗凝固血(EDTA加血)	血液 2.0mL	血型採取管(EDTA-2K管)	該当なし
血液型検査試験管法	試験管法	抗凝固血(EDTA加血)	血液 2.0mL	血型採取管(EDTA-2K管)	該当なし

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
交差適合試験 A.V. Innova	ビーズカラム遠心凝集法 (CAT)	ア抗凝固血 (EDTA加血) イ血漿(もしくは血清)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
交差適合試験 試験管法	試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
不規則抗体検査 A.V. Innova	ビーズカラム遠心凝集法 (CAT)	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
不規則抗体検査 試験管法	試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
間接クームス検査	ビーズカラム遠心凝集 (CAT) 法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
直接クームス検査	試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 2.0mL	交差ED2K-7管	陰性
総蛋白	ビウレット法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	6.6～8.1 g/dL
アルブミン	BCP改良法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	4.1～5.1 g/dL
蛋白分画	キャピラリー電気泳動	血清	血液 1.0mL	フレイ管	A/G 1.2～1.9 ALB分画 54.4～66.1% α1分画 2.7～4.3% α2分画 6.2～10.5% β分画 8.9～13.5% γ分画 12.3～22.8%
C R P	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≤0.14 mg/dL
血清アミロイドA	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<8.0 μg/mL
尿素窒素	ウレアーゼ・GLDH・UV法 (アンモニア消去法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	8～20 mg/dL
クレアチニン	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:0.65～1.07 mg/dL F:0.46～0.79 mg/dL
尿酸	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:3.7～7.8 mg/dL F:2.6～5.5 mg/dL
アンモニア	酵素サイクリング法	血漿 (EDTA2K加血)	血液 2.0mL	アンモニア (EDTA-2K管)	12～66 μg/dL
N a	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	138～145 mmol/L
K	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	3.6～4.8 mmol/L
C l	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	101～108 mmol/L
C a	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	8.8～10.1 mg/dL
M g	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.0～2.4 mg/dL
無機リン	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.7～4.6 mg/dL
インスリン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	1.84～12.2 μU/mL
グルコース	GOD固定化酵素酸素電極法	血漿	血液 2.0mL	フッ化Na管	73～109 mg/dL (空腹時)
ヘモグロビン-A ₁ C (NGSP)	HPLC法	血液 (EDTA2K加血)	血液 2.0mL	フッ化Na管	4.9～6.0% (NGSP値)
クレアチンキナーゼ	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:59～248 U/L F:41～153 U/L
C K-MB	免疫阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<12 U/L (国立循環器病研究センターの基準値を採用)

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
A S T (G O T)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	13～30 U/L
A L T (G P T)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:10～42 U/L F:7～23 U/L
乳酸脱水素酵素	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	124～222 U/L
アルカリフォスファターゼ	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	106～322 U/L
γ-G T P	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:13～64 U/L F:9～32 U/L
アルドラーゼ	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.2～4.7 U/L
コリンエステラーゼ	酵素法(p-ヒドロキシベンゾイルコリン法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:240～486 U/L F:201～421 U/L
アミラーゼ	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	44～132 U/L
リパーゼ	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	14～54 U/l
乳酸	酵素法	血漿(フッ化Na管)	血液 2.0mL	乳酸ビ管 (フッ化Na管)	4～16 mg/dL (0.44～1.78mmol/L)
ピルビン酸	酵素法	血漿(フッ化Na管)	血液 2.0mL	乳酸ビ管 (フッ化Na管)	0.3～0.9 mg/dL (文献値)
血清浸透圧	過冷却氷点降下法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	275～290 mOsm/Kg・H ₂ O
鉄	Nitroso-PSAP直接法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	40～188 μg/dL
ハプトグロビン	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	19～170 mg/dL
トランスフェリン	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:190-300 mg/dL F:200-340 mg/dL
β2-マイクログロブリン	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.80～2.00 μg/mL
ミオグロビン	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<70 ng/mL (2009年9月より)
フェリチン	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:25～280 ng/mL F:10～120 ng/mL
総ビリルビン	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.4～1.5 mg/dL
直接ビリルビン	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.0～0.3 mg/dL
総コレステロール	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	142～248 mg/dL
中性脂肪	酵素法 (グリセロール消去法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:40～234 mg/dL F:30～117 mg/dL
HDL コレステロール	化学修飾酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:38～90 mg/dL F:48～103 mg/dL
LDL コレステロール	選択的可溶化法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	65～163 mg/dL
カルバマゼピン	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
フェノバルビタール	ラテックス免疫凝集阻害法□	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
フェニトイン	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
バルプロ酸	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
ジゴキシン	イムノアッセイ法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
テオフィリン	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
バンコマイシン	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
メトトレキサート	CLIA法（化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
シクロスポリン	酵素免疫測定法	血液（EDTA2K加血）	血液 2.0mL	血中薬物ED-2K	該当なし
タクロリムス	酵素免疫測定法	血液（EDTA2K加血）	血液 2.0mL	血中薬物ED-2K	該当なし
アルコール	酵素法（ADH-UV系）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<3mg/dL
高感度TSH	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.500～5.00 μ IU/mL
遊離T3	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.3～4.0 pg/mL
遊離T4	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.90～1.70 ng/dL
BNP	CLIA法（化学発光免疫測定法）	血漿	血液 1.0mL	内分泌ED2K	≤18.4 pg/mL
IgG	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	861～1747 mg/dL
IgA	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	93～393 mg/dL
IgM	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:33～183 mg/dL F:50～269 mg/dL
IgE	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<300 IU/mL
C3	免疫比濁法	血清□	血液 1.0mL	フレイ管	73～138 mg/dL
C4	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	11～31 mg/dL
CH50	Mayer法相対比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	30.0～46.0 CH50/mL
リウマチ因子（定量）	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≤15 IU/mL
MMP-3	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:36.9～121.0 ng/mL F:17.3～59.7 ng/mL
CEA	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.6～3.8 ng/mL
αフェトプロテイン	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	1～7 ng/mL
CA125	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:6～19 U/mL F:8～36 U/mL
CA15-3	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<25 U/mL
CA19-9	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:1～29 U/mL F:1～37 U/mL
SCC抗原	CLIA法（化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≤1.9 ng/mL
PSA	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	ア 加齢により上昇する。 40代：2.0、50代：3.0、 60代：4.0、70代：5.0、 80代：6.0ng/mL イ PSA値（タンデム）：4ng/mLが カットオフ値
F-PSA	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
C Y F R A	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	参考基準値: <2.8ng/mL カットオフ値: 3.5ng/mL (肺良性疾病を対象としたROC曲線より算出)
エンドトキシン	比濁時間分析法	血漿(ヘパリンNa入り滅菌採血管)	血液 1.0mL	エンドトキシン管	<1.0pg/mL
β -D グルカン	比濁時間分析法	血漿(ヘパリンNa入り滅菌採血管)	血液 1.0mL	エンドトキシン管	<11.0pg/mL
梅毒RPR	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (R.U ; <1)
梅毒T P 抗体	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (S/CO:<1.00)
H B s 抗原	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (<0.05IU/mL)
H B s 抗体	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (<10mIU/mL)
H B c 抗体	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (S/CO:<1.00)
H B e 抗原	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (S/CO:<1.00)
H B e 抗体	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (%Inh:<50)
H C V 抗体	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (S/CO:<1.00)
H T L V - I / II 抗体	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (S/CO:<1.00)
H I V A g / A b	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ (S/CO:<1.00)
H C V - R N A (定量)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ: LogIU/mL
H I V - 1 R N A (定量)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ: コピー/mL
H B V - D N A (定量)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ: LogIU/mL
K L - 6	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<500U/mL (カットオフ値)
H C G	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	ア F (非妊婦): ≤ 3 mIU/mL イ F (閉経後): ≤ 6 mIU/mL ウ M: ≤ 2 mIU/mL
P I V K A II	LBA-EATA法 (Liquid-phase Binding Assay)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<40mAU/mL
I C G 試験	生食法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	15分血中停滞率(R) 0-10% 血中消失率(K) 0.168~0.206 但し臨床検査部の結果値はmg/dLの濃度として表示されている。
トロポニン I	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≤ 26.2 pg/mL
プロカルシトニン	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<0.05 ng/mL
テストステロン	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M: 1.31~8.71ng/mL F: 0.11~0.47ng/mL (卵胞期、排卵期、黄体期) 0.04~0.43ng/mL (閉経後)

検査項目	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
トランスサイレチン	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フライン管	22～40 mg/dL
RBP（レチノール結合タンパク）	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フライン管	3.5～5.5 mg/dL
可溶性IL-2レセプター	ELISA法（二抗体固相酵素免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フライン管	145～519 U/mL
ACTH	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血漿	血液 1.0mL	内分泌ED2K	7.2～63.3 pg/mL
Cペプチド	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フライン管	0.8～2.5 ng/mL
PTHインタクト	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フライン管	15～65 pg/mL
αフェトプロテイン分画（AFP-L3%）	LBA-EATA法（Liquid-phase Binding Assay）	血清	血液 1.0mL	フライン管	AFP-L3%:<10%
グリコアルブミン	酵素法	血清	血液 1.0mL	フライン管	11.0～16.0%
コルチゾール	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血漿	血液 1.0mL	内分泌ED2K	7.1～19.6 μg/dL
TSHレセプター抗体	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フライン管	
サイログロブリン	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	フライン管	≤33.7 ng/mL